

クリーンエネルギー車の普及に向けて

慶応義塾大学経済学部

大沼あゆみ研究会 卒業論文

学籍番号 20107804 河原塚裕美

“Where there's a will, there's a way.”

— *Famous Proverb*

目次

序章

第1章 自動車と環境

- 1.1 増え続ける自動車
- 1.2 自動車と環境問題
 - 1.2.1 エネルギー問題
 - 1.2.2 大気汚染問題
 - 1.2.3 地球温暖化問題

第2章 クリーンエネルギー車の現状と課題

- 2.1 クリーンエネルギー車とは
 - 2.1.1 クリーンエネルギー車の種類
 - 2.1.2 クリーンエネルギー車の利点・問題点
- 2.2 クリーンエネルギー車の現況
 - 2.2.1 各自動車メーカーの取り組み
 - 2.2.2 普及状況と目標
- 2.3 現行のクリーンエネルギー車普及策

第3章 クリーンエネルギー車の普及に向けて

- 3.1 更なる普及のために
- 3.2 ZEV 規制
 - 3.2.1 ZEV 規制とは
 - 3.2.2 期待される ZEV 規制の効果
- 3.3 日本型 ZEV の提案
 - 3.3.1 日本での ZEV 規制導入を考える
 - 3.3.2 クレジット取引の理論分析
- 3.4 まとめ

終章

参考文献・URL

序章

世界の自動車台数は、20世紀後半からうなぎのぼりに増え続け、21世紀の現在では7億台を超えている。自動車は私達の生活、さらには経済を支えるものであり、今や欠かすことのできないものとなっている。

しかし、その一方で、自動車社会の発展は私達の環境に深刻な問題をもたらしてきた。自動車の排出ガスは、大都市での大気汚染を深刻化させ、地球規模でも今世紀最大の環境問題の一つとされる地球温暖化に拍車をかけている。

これまで、我が国でも国や地方自治体によって自動車排出ガス規制を始めとする様々な対策が行われてきた。しかし、自動車交通量は急激に増え続けており、行政の対策が追いつかない状態である。自動車がどのように環境と共生していくべきかが今、問われている。

このような状況の中で、現在注目を浴びているのがクリーンエネルギー車である。クリーンエネルギー車は環境への負荷が小さい自動車であるため、クリーンエネルギー車を導入することで環境と自動車の共生が可能になる。各自動車メーカーの技術開発と国による様々な施策によって近年のクリーンエネルギー車の普及台数は急激に伸びている。しかし、自動車の引き起こす環境問題を解決するためには、さらなる普及が必要である。

そこで、本論分では、我が国でクリーンエネルギー車を普及させる方法について考えていきたい。第1章では自動車と環境について見ていく。第2章ではクリーンエネルギー車の現状と課題について述べる。そして第3章ではカリフォルニアのZEV規制を例にとり、我が国で望ましい普及策について検討したいと思う。